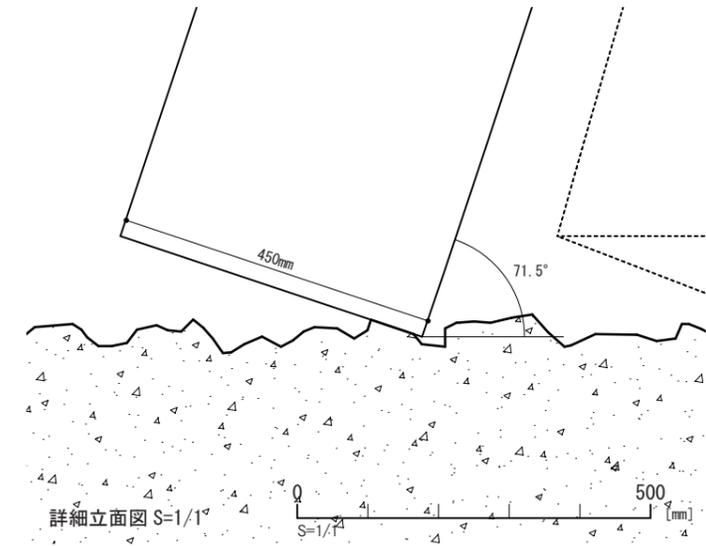
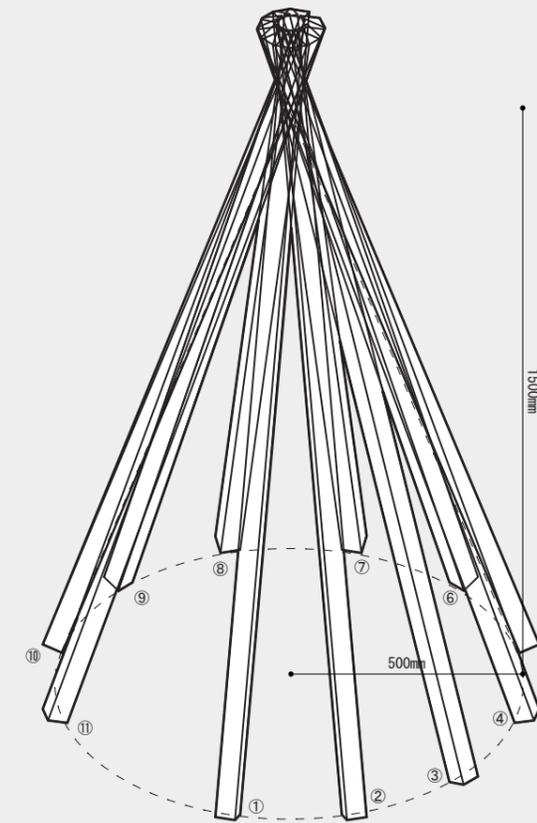


角材を紐で括ることで献花を守る空間を作ります。場所によって、太さ、長さ、本数、円の大きさを变化できるフレキシビリティを持ちながら、普遍的な象徴性も併せ持つパビリオンです。

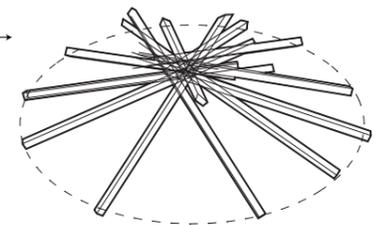
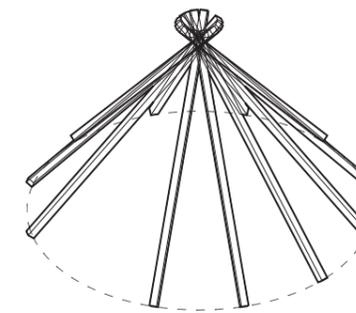
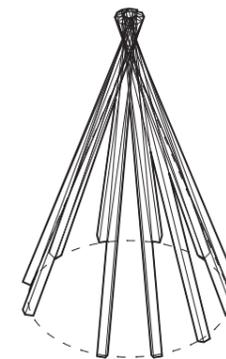


ここでは道路での事故を想定し、45×45×1800mm 角材を 11 本で、半径 500、高さ 1500mm の空間を作ります



アイソメ S=1/15

0 500 [mm]  
S=1/15



事故現場にパビリオンが立ちました。生まれる隙間は人々と献花を接続しつつ故人と自然をもつなげます。

雨や風によって傾き始めました。人の介入で修繕されるかもしれませんが、自然に身を任せるかもしれません。

パビリオンが崩れます。建築と共に故人は自然と一体化することで、ケガレは祓われケへと戻りました。